

2020年度 事業報告書

2020年4月 1日から

2021年3月31日まで

学校法人マリア学院

1. 法人の概要

名称 学校法人マリア学園（昭和63年4月8日法人設立）
代表者 理事長 若林 公代
住所 大阪府高槻市野見町2番15号
電話 072-675-1278
FAX 072-675-1258

設置する学校

- ①住所 大阪府高槻市野見町2番15号
名称 高槻マリア・インマクラダ幼稚園
- ②住所 岡山県倉敷市北畝2丁目17番37号
名称 倉敷マリア・インマクラダ幼稚園
- ③住所 千葉県市原市辰巳台西3丁目11番3号
名称 市原マリア・インマクラダ幼稚園

役員 理事 6名 ・ 監事 2名
評議員 13名
理事会 4回開催
評議員会 3回開催
職員 41名（高槻マリア・インマクラダ幼稚園）
25名（倉敷マリア・インマクラダ幼稚園）
30名（市原マリア・インマクラダ幼稚園）

2. 事業の概要

《教育理念》

神が子どもたちに望んでおられることを達成し、子ども自身が自分の能力を自分自身で成長させることができるように、全教育共同体と一致して、知性の源を育む。知性とは、感謝の心・自分で考える力・自己肯定・共感力・あきらめない心などを指し、卒園後の生涯に亘って自ら行動する力となる。

《教育方針》

教育理念の達成に向けて、次の3つの教育方針で臨む。

- ① 神様とまわりの人たちから愛されていることに気づく(宗教教育)
- ② 幼稚園生活の経験を通して自分自身が好きになる(モンテッソーリ教育)
3~6歳の縦割り保育とモンテッソーリの自由選択活動
- ③ 集団生活の出会いと関わりを通して、神様とまわりの人を大切にする(平和教育)

(高槻マリア・インマクラダ幼稚園)

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			4	90	3	95	3	95	10	280
2019年度		18		67		74		94	8	253
2020年度		31		76		73		77	8	257
2021年度		20		80		84		76	8	260

《保育時間》

月～金曜日 午前8時30分～午後2時（但し、水曜日は午後11時45分まで）

土曜日 休園

《納付金》

保育料 年額336,000円（12分割均等納付）

教育充実費 年額 30,000円

施設費 年額 20,000円

冷暖房費 年額 5,000円

バス維持費 年額 5,000円

バス利用料 月額 4,000円

給食費 実施せず（4回弁当持参）

《入園時の費用》

入園料 120,000円

検定料 5,000円

《預かり保育の内容及び費用》

・月～金曜日 午前8時～保育開始時、保育終了後～午後7時

午前8時～保育開始時 200円/日

午後保育終了後～ 800～1,000円/日

午前保育終了後～ 1,100～1,300円/日

月極 15,000～18,000円/月

・夏冬春休み中の預かり保育（年末年始・お盆を除く）

長期休業日 1,500～1,800円/日

18,000～22,000円/月

《主な行事》

入園歓迎会、運動会、参観日、七夕、盆おどり、プールあそび、おとまり保育、消防署見学、安全教室、おもいほり、おもいパーティー、マリア・フェスタ、七五三、クリスマス会、キャンドルサービス、おもちつき、節分、ひかりのこコンサート、スポーツフェスティバル、お別れ遠足、お別れパーティー、卒園感謝式、卒園児の集い（小学生のお仕事、中・高・大学生の集いなど）

《施設関係》

園地面積 2,268.04㎡ 内、運動場面積 1,041.40㎡

園庭集約工事（砂場新設、整地、造園、遊具移設）、未就園児教室のトイレ新設、人工芝増設、電気ブレーカー更新

すべり台・コンクリート遊具・鉄棒・玄関扉・雲梯・正面折戸を廃棄

《設備関係》

空調機、園児用折りたたみテーブル、パソコン、複合機、園バスを購入

火災報知器・受信機、園バスを廃棄

《借入金関係》

なし

《その他修繕等》

造園工事、保育室・バス消毒、2階講堂放送設備修繕、貯水槽点検、ポンプ修理、網戸新設等

（ 倉敷マリア・インマクラダ幼稚園 ）

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員										200
2019年度		21		40		40		38		139
2020年度		21		43		39		36		139
2021年度		22		32		47		39		140

《保育時間》

月～金曜日

月火木金曜日

水曜日

① 午前8時15分～午後1時45分

8時15分～10時45分

② 午前8時40分～午後2時10分

8時40分～11時10分

土曜日

休園

《納付金》

保育料 年額308,400円（12分割均等納付）

教材費 年額 4,000円

冷暖房費 年額 8,000円

給食費（おやつ代含）月額 2,000円

バス維持費 年額 6,000円

バス利用料 月額 4,000円

《入園時の費用》

入園料 30,000円

検定料 3,000円

《預かり保育の内容及び費用》

・月～金曜日

午前7時15分～保育開始時8時15分 200円/時

保育終了後～午後6時 150円/時・9,000円/月

午後6時～午後6時30分 200円/時

・夏冬春休み中の預かり保育（年末年始・お盆を除く）

午前7時30分～午前8時30分 250円/時

午前8時30分～午後6時 1,800円/日

午前8時30分～午後1時30分 900円/日

午後1時～午後6時 900円/日

午後6時～午後6時30分 250円/時

《主な行事》

入園式、マリア祭、年長遠足、運動会、お泊り保育（年長）、火災避難訓練、お芋掘り遠足、キンダーフェスティバル、七五三祝福式、クリスマスお祝い会、豆まき、人形劇、お別れ遠足（年長）、卒園式、母親の集い、誕生日会、参観日、年長児頑張った事発表会、ドッジボール大会

《施設関係》

園地面積 930.16㎡ 内、運動場面積 651.67㎡

《設備関係》

園児用机、複合機を購入、中型バス1台（リース）

コピー機を廃棄

《借入金関係》

園舎改築のため、(宗)汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会から借入したものを一部返済した。

《その他修繕等》

ピアノ調律、階段手すり塗装工事、建物の耐震調査

（市原マリア・インマクラダ幼稚園）

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			3	70	2	70	2	70	7	210
2019年度		20		48		41		51	6	160
2020年度		18		48		53		41	6	160
2021年度		20		31		48		53	6	152

《保育時間》

※本年度は緊急事態宣言のため、4月1日～5月24日まで休園

5月25日から分散登園開始～6月5日まで

月～金曜日

Aコース 午前8時30分～午後2時15分
(但し、水曜日は午前10時45分まで)

Bコース 午前9時30分～午後3時15分
(但し、水曜日は午前11時45分まで)

土曜日 休園

《納付金》

保育料	年額	312,000円	(12分割均等納付)
モンテッソーリ教育充実費	月額	3,000円	
施設費	年額	20,000円	
冷暖房費	年額	5,000円	
給食費	月額	2,100円	
給食食器代	年額	1,100円	
絵本代	月額	年長・年中435円	・ 年少495円
バス維持費	年額	5,000円	
バス利用料	月額	4,500円	

《入園時の費用》

入園料	80,000円
検定料	3,000円

《預かり保育の内容及び費用》

・月～金曜日

午前7時30分～保育開始時・保育終了後～午後6時30分

100円/時・10,000円/月

・夏冬春休み中の預かり保育(年末年始・お盆を除く)

午前7時30分～午後6時30分 100円/時

《主な行事》

入園式、親子ピクニック(中止)、マリア祭(中止)、年長遠足、運動会、お泊り保育(年長)、防災訓練、火災避難訓練、お芋掘り遠足、七五三祝福式、クリスマスお祝い会、おもちつき、豆まき、人形劇、ひな祭り音楽会、卒園遠足(年長)、卒園式、母親の集い、誕生日会

《施設関係》

園地面積 1685.02㎡ 内、運動場面積 729.72㎡

《設備関係》

加湿空気清浄機、パソコン、印刷機購入

パソコン廃棄

《借入金関係》

本館塗裝修繕工事のため、千葉興業銀行から借入したものを約定返済した。
通園バス・車庫その他の構築物取得、事務室の建築及び運転資金のため、(宗)汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会から借入したものを一部返済した。

《その他修繕等》

ピアノ調律、引戸アクリル板修繕、本館2階網入りガラス、欄間ガラス交換、駐車場補修、本館3階廊下天井補修、前ブラインド修繕、本館1階子ども用トイレ便座修理、ホール音響不具合対応及びアンプ修理、ホール・図書室（ステージ）梁補修工事、誘導灯設備補修、トイレ・バス光触媒抗菌コート等

《事業報告》

2020年度の事業は、園児数を前年度と比べると高槻マリア・インマクラダ幼稚園で4名増加、倉敷マリア・インマクラダ幼稚園と市原マリア・インマクラダ幼稚園が横這いとなり、新型コロナウイルスの影響はあったものの、保護者の協力を得て教職員の真摯な努力により、着実に事業を運営することができた。

2020年4月7日、緊急事態宣言が発出され、5月6日まで感染抑制のため、学校の臨時休業が要請されたが、その後の感染数の推移から、医療体制の崩壊を避けるため、休業期限が5月末まで延長された。

2021年に入り2回目の緊急事態宣言が2021年1月13日から2月28日まで発出され、その後、蔓延防止等重点措置が4月5日に出されたが、感染力の強い変異株の影響で感染数が増加したため、3回目の緊急事態宣言が4月25日から5月11日まで発出された。その後、感染数の高止まり、医療体制の逼迫もあって、5月末まで延長したが、感染者数や重症病床数がなかなか減らないことから6月20日まで再延長となった。対策の要となるワクチン接種も始まったばかりで、しばらくは予断を許さない状況が続くものと予想される。

こういった中、当学院では、新型コロナウイルスの感染対策を積極的に行い、園全体の安全を確保しながら、運営を行ってきた。

休園を余儀なくされた影響で、預り保育や未就園児クラスなどの補助活動収入が減少した。

2015年から子ども子育て支援新制度が始まり、大阪府では2021年度時点で、6割近い園が新制度に移行したものの、184園が私学助成で事業の継続をしており、当学院もその中の一つである。

また、新型コロナウイルスの影響もあって2020年の出生数が戦後最小の86万4千人になり、2021年84万8千人、2022年79万2千人と更に減少するとの試算もあり、収入構造の根幹をなす園児数の確保が大きな課題となってきている。

当学院はモンテッソーリ教育の一環として縦割りを実施しているが、未就園児クラスの充実もあって満3歳児の入園がスムーズに行われている。今後、未就園児クラスと3-6教育の連携を一層強化し、当学院の魅力を保護者の方に伝えていきたい。その手段

として、2020年からホームページを一新し、スマートフォンへの対応を行った。また、コロナ禍で保護者の参観が難しいこともあり、講演会をはじめ、運動会・クリスマス会などの子どもたちの様子を Web 配信により伝えた。

採用は、依然厳しい状況であるが、モンテッソーリ教育を行う当学院で是非とも働きたいと思える環境を整備していくことが重要である。インターン生の受入れや当学院の卒園児へのアプローチを中心に対応していく。

以上のことを踏まえ、当学院としては、事業継続を図るため、5年後の事業予想（中期事業計画）を作成するとともに、監督官庁の調査にしっかりと対応出来るよう、事務管理体制の確立に努めていきます。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。

財務状況については、高槻マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が182,616千円（前年度163,033千円）、教育活動支出計が161,568千円（前年度167,984千円）となり、教育活動収支差額21,047千円（前年度▲4,950千円）、経常収支差額比率11.53%（前年度▲3.03%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、54.32%（前年度69.28%）となった。預り保育人件費を管理経費補助活動支出へ移動した影響により、人件費比率が大幅に低下した。

倉敷マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が93,952千円（前年度89,123千円）、教育活動支出計が72,902千円（前年度68,711千円）となり、教育活動収支差額21,050千円（前年度20,411千円）、経常収支差額比率22.41%（前年度22.90%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、36.62%（前年度40.39%）となった。

市原マリア・インマクラダ幼稚園では、事業活動収支計算書での教育活動収入計が122,623千円（前年度114,400千円）、教育活動支出計が118,583千円（前年度118,112千円）となり、教育活動収支差額4,040千円（前年度▲3,712千円）、経常収支差額比率3.24%（前年度▲3.32%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、65.03%（前年度63.82%）となった。

学園全体では、経常収支差額が42,672千円（前年度6,487千円）となった。

資金繰りについては、翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

3. 財務状況

別紙参照